

# 青森県薬剤師会むつ下北支部活動報告

広報・情報委員会 上路基大

今回は最近のむつ市下北支部の研修会に関して報告させていただきます。

内容につきましては、青森県むつ下北支部学術講演会と題して以下の通り行われました。

令和6年2月21日(水) 18:45~20:15

① あるべき薬剤師業務を地域で展開する

八戸市民病院 薬局長 田村 健悦先生

② 炎症性腸疾患の薬物治療について

弘前大学大学院医学研究科 地域医療支援学講座 助教 蓮井 桂介先生

今回の研修では八戸市民病院の薬剤師が取り組んでいる内容について田村先生からお話があり、とても参考になりました。

近年は抗がん剤の種類が増えたことにより、患者さんに選択肢が増えているのは喜ばしいことですが、治療法も煩雑化している点もあります。

そんな中、病院側で取り組まれているのが抗がん剤レジメンの開示や研修会の開催、処方せんへの検査値の記載等であり、薬局側としては受けている治療がわからなければ患者さんに適した説明、フォローが出来なくなってしまうので、とてもお忙しい中そういった取り組みをして頂いていることに対しては感謝しかありません。

下北圏内ではむつ総合病院さんでも同じように HP にレジメンの開示、お薬手帳に患者さんが受けた治療の内容記載、研修会、検査値記載など様々なことをしていただいております。

情報を相互に提供し、共通認識を持つことで患者さんにより良い医療を提供できると思うので、薬局側としても情報を受け取るだけでなく、病院側に情報を還元していくことが求められると今回の研修会で再度認識しました。

